

製品の効果を可視化してみませんか？

～ 生体情報の計測と評価 ～

この技術のメリット

- 製品の使用効果のエビデンスを提示
- 客観的データの評価にもとづく説得力



手順

- ① 製品の使用状況を調査・観察
- ② 製品効果が生体情報に現れるメカニズムの仮説立て
- ③ 実験系の構築および生体情報の計測・解析

事例

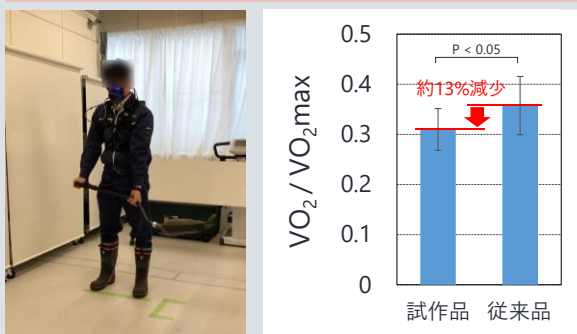


開発したショベルが楽に作業できるかを評価
(上：従来品 下：試作品)



開発したはさみの切りやすさを評価
(左：従来品 右：試作品)

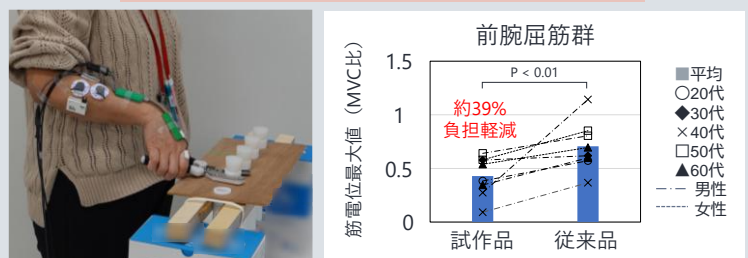
土砂のすくい上げを模擬したショベル作業



身体負担評価装置で酸素摂取量を比較

柄が曲がったショベル

カボチャの収穫を模擬した軸切り作業

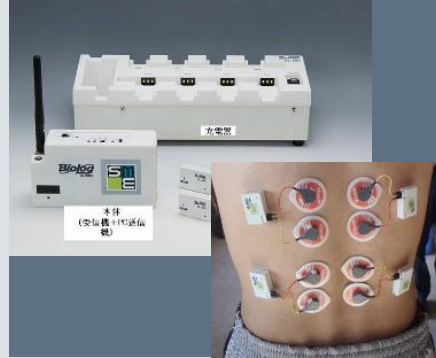


筋電図解析により切断時の筋負担を比較

カボチャの軸切りばさみ



身体負担評価装置



多用途生体情報計測システム



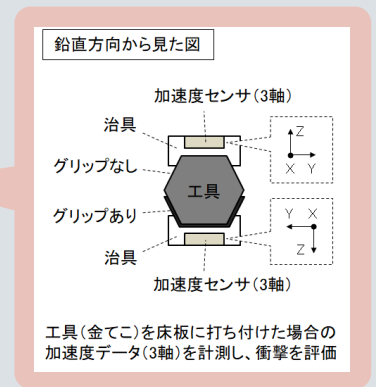
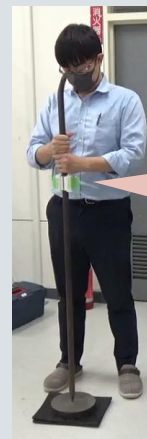
慣性センサの例

事例

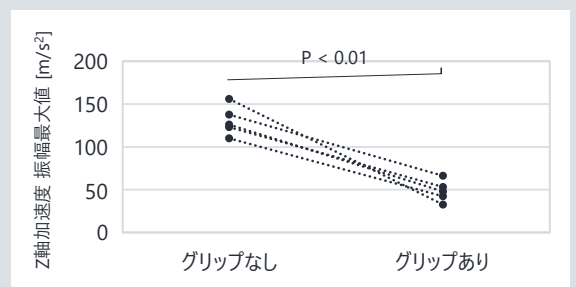


ゴム製
グリップ

衝撃軽減グリップ



実験方法の検討



持ち手部分に生じる衝撃を加速度データで評価

販売中の衝撃軽減グリップの効果確認

企業様へのご提案

- 製品の訴求力アップにエビデンスを活用しませんか？
- 生体センサのご利用についてもお気軽にご相談ください

詳しい技術支援報告



詳しい研究報告



お問合せ

ヒューマンテクノロジー部 生体情報グループ